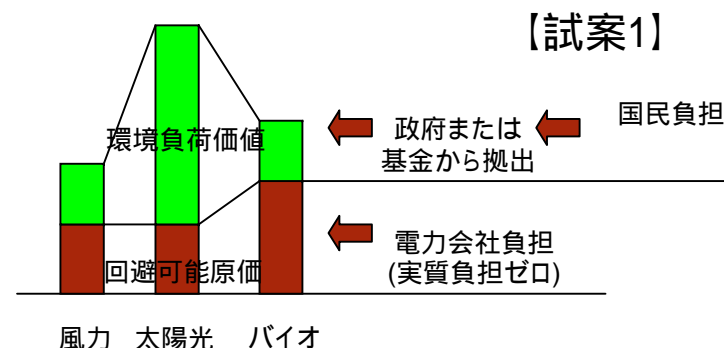


「固定価格制」と「固定枠制」(RPS)の二元論を超えた制度設計に向けて - GENの3つの試案

両制度を統合した制度設計のGEN試案

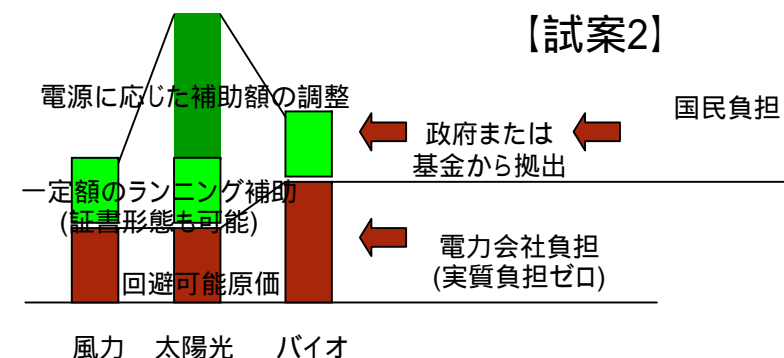
【試案1】 価格低下を折り込んだ固定価格制

- ・回避可能原価は電力会社の負担
- ・自然エネ技術毎に適切な価格を設定
あらかじめ長期的に価格低下を予告(年-2%など)
- ・固定価格の財源は国民負担(回避可能原価を除く)



【試案2】 一定額のランニング補助

- ・回避可能原価は電力会社の負担
- ・一定額のランニング補助: 米国PTCなど
太陽光などに補助額の調整
- ・財源は国民負担(回避可能原価を除く)



【試案3】 固定枠制(RPS制)での価格安定化と長期的な制度保証

- ・回避可能原価は電力会社の負担
- ・下限価格の設定による事業リスク緩和
政府によるクレジット買取価格
- ・ペナルティによる上限価格設定
- ・上限価格に張り付く高い目標値の設定
- ・制度リスクを緩和するための長期的な目標年限
- ・オプションとして、目標超過分の政府による高値買取

